

市政を問う!!

一般質問の要旨

質問者

中村 努
 鈴木 明子
 永井 泰仁
 山口 恵子
 柴田 博
 古畑 秀夫
 太田 茂実
 丸山 寿子
 森川 雄三
 金子 勝寿

※本文は質問者自身の原稿によるものです

農家が元気になる支援策を

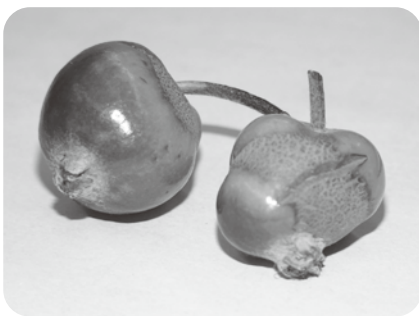
◆凍霜害の状況と支援策は

問 4月27日からの3日連続の遅霜による被害状況と支援策は。(古畑)

答 なし、りんごなど果樹全体で3千300万円余、アスパラガス、レタスなど野菜全体で1千400万円余の被害と推測している。具体的な支援策としてJA等を通じての技術対策や融資制度を活用しての防霜ファンの導入、果樹共済への加入促進等、関係機関と連携を図っていく。

◆農地法改正の影響は

問 参議院で審議中の農地法改正案は、農地は耕作者のものか。



凍害を受けたリンゴ



地域の農業環境に適した施策を

のという原則を変え、農外企業などの参入をすすめようとしている。営利を追求する農外企業の参入は、優良農地を取得、撤退の事例もあり、地域の農業環境を侵害するものではないか。(鈴木)

答 そのような危惧もあるが農地の有効活用という積極面もある。参入企業などを見極めていく必要があり、農業委員会がその任に当たることになる。

◆遊休荒廃農地の再生

問 農地再生事業と農業振興公社事業の考えは。(永井)

答 現在31・8haが耕作放棄地となっている。国は、平成23年度までに解消を図るとしており、市は、遊休荒廃農地総合対策事業を実施する。農業振興公社は、労働力支援や農地集約化、耕作放棄地の解

消等、出来るところから事業化を進める。

自然保護と低炭素社会へ向けて

◆高ポッチ高原の自然を守る取り組みについて

問 現在の景観を極力保護することが必要な山頂から尾根筋の西側等の第1種特別地域を重点的に保護する予定はあるのか。(金子)

答 高山植物等の損傷や採取等の違反行為は県と共に厳重な対応をとることになる。また、自然保護ボランティアや県と相談しながら、適正な保護対策を検討・実施していく。



高ポッチ高原の自然を守る自然保護ボランティアの活動